教育のぼりべつ

平成２８年
7月5日号
NO,１２

発行　登別市教育委員会　0143－88－1100　　〒059-0014　登別市富士町7丁目33番地



交通安全教室

幌別西小学校　平成２８年４月２１日（木）

「 ふれあい農園 」で田植えが行われました（幌別中学校区）





５月２８日（土）幌別中学校区の学校支援地域本部事業として「ふれあい農園」での田植え作業が実施されました。

参加した小学生や中学生は、植え方の説明を聞いたあと田んぼに入り、一生けんめい作業に取り組んでいました。

今年は、とうもろこしや米のお菓子を作る機械も登場し、昨年収穫した米を使ったお菓子も楽しみました。貴重な農業体験を通しながら地域の子どもたちのふれあいの輪が広がる有意義な一日となりました。



お菓子を作る機械

平成２８年度　登別市の教育

現在、中央教育審議会においては、新しい時代の教育や学校の在り方、地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方等について審議が進められております。登別市教育委員会では、これらの動向を見極めながら本年度の教育行政執行方針を策定いたしましたので、その要旨についてお知らせします。

基本方針

○子どもたちが社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く「生きる力」の育成
○市民だれもが主体的に学び続け、その成果を生かすことのできる活力ある生涯学習社会の実現

学校教育

○昨年度開催された教育フォーラムでの「社会全体で子どもを育てる」という意識の共有化を土台に、今後とも各学校の運営協議会の活動が円滑に進むよう支援を進める。
○土曜日における豊かな教育環境を子どもたちに提供するため、引き続き土曜授業の実施を進める。

知

確かな学力の向上

校長会と共同で設置している教育課程課題検討委員会での協議を進めながら、指導の改善に努める。また、学校が取り組む補充学習に加え、学習支援室や地域の方々による「放課後学習教室」の充実を図り、児童生徒の基礎学力の定着や学ぶ意欲の向上に努める。

読書活動

「学校図書館担当者・学校図書ボランティア連絡会議」や学校図書館司書の配置による学校図書館機能の充実

教職員の指導力向上

研究実践奨励校の指定、巡回指導教員活用事業、地域連携研修事業などを通した指導方法の工夫・改善等

本年度の各学校の児童生徒数

	学校名	児童生徒数	昨年度比増減
小学校	鷲別小学校	293人	−13人
	若草小学校	326人	−10人
	富岸小学校	457人	−59人
	青葉小学校	318人	−25人
	幌別西小学校	306人	−21人
	幌別小学校	291人	−27人
	幌別東小学校	80人	＋ 6人
	登別小学校	168人	− 7人
中学校	鷲別中学校	286人	＋23人
	緑陽中学校	430人	＋45人
	西陵中学校	168人	−15人
	幌別中学校	211人	− 5人
	登別中学校	90人	− 2人
小中学校合計		3，424人	−110人

＜５月１日 現在＞



徳

豊かな心の育成

読書活動や人権教育、道徳教育の充実を促し、命を大切にする心や他人を思いやる心、自律心や規範意識等の醸成
情操を育むための自然とのふれあい〜ふぉれすと鉱山等を利用した自然体験活動を促す取組等の推進

体

体力向上

一校一実践の取組や体育コーディネーター派遣事業等の充実

健康教育

望ましい食習慣確立のための食育の推進、学校医や関係機関と連携した薬物乱用防止や疾病予防の取組

その他の重点項目

特色ある教育〜スキー授業・温泉入浴体験・環境学習、国際感覚を養う活動の推進、幼保・小・中の連携、安全対策〜災害時の子どもたちの安全を確保する取組、通学路の安全確保の取組、学校耐震化改修工事の計画的推進、いじめや不登校への対応、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

社会教育

○郷土資料館や市立図書館、登別市文化・スポーツ振興財団等のネットワーク化を図り、登別市の自然や暮らし、歴史や文化、産業などを学ぶ「ふるさと学（登別地域学）」の構築を進める。

家庭教育

家庭教育学級、通学合宿、放課後子ども教室、家族の時間づくりプロジェクト、学校支援地域本部事業における活動の充実を図る。

青少年の健全育成

非行の未然防止と良好な環境の確保のため、青少年センターを中心に、関係団体との連携した街頭指導の強化、不審者情報に対応するメール配信体制の充実、子どもたちを見守るパトロール活動の実施、子ども110番の家の拡充等の取組を進める。

文化・スポーツの振興

西いぶり定住自立圏合同文化事業として「文楽」を鑑賞する機会を設ける。登別市に残る郷土芸能や各種行事に対する児童生徒の積極的な関わりを奨励し、伝統文化の継承と郷土を愛する心の育成に努める。

登別市学校支援地域本部事業の取組が
文部科学大臣表彰を受賞しました



昨年12月、登別市学校支援地域本部事業の取組が文部科学大臣表彰を受賞しました。

登別市での地域による学校支援の取組は、平成4年から始められました。子どもの教育を学校・家庭・地域の三者が連携して進めることの重要性が認識され、全国的にも様々な活動が進められた時期です。

登別市でのこうした取組は、24年が経過した現在も中学校区ごとにコーディネーターを配置した登別市学校支援地域本部実行委員会の事業として、多くの地域ボランティアの皆さんに支えられながら、活発に進められています。


市長に受賞報告をする畑山実行委員長

こうした長年にわたる学校支援の取組が、平成27年度優れた「地域による学校支援活動」として高く評価され、この度の受賞となりました。

現在、市内すべての小中学校は、子どもたちの豊かな育ちを確保していくためにコミュニティ・スクールとして地域と手を携えた学校運営を進めています。

これからも地域の学校に対する、市民の皆さんのいっそうのご理解とご協力をお願いいたします。

第３３回 登別市少年の主張大会

６月７日（火）鷲別中学校を会場に、市内の中学校５校と明日中等教育学校（前期課程）の６校の生徒が参加し、「第３３回登別市少年の主張大会」が開催されました。

出場者は、各中学校から２名ずつ選出された１２名。日常の生活のなかで体験したさまざまな事柄について問題意識をもちながら見つめ、そこで感じたり考えたりしたことを自分の主張としてまとめ、堂々と発表していました。





最優秀賞に選ばれた吉井さん

今年の最優秀賞には、登別明日中等教育学校３回生の吉井さつきさんが選ばれました。吉井さんは、７月に開かれる胆振大会に出場します。 ※入賞者は、以下のとおりです

最優秀賞	登別明日中等教育学校	３回生	吉井さつき
優秀賞	緑陽中学校	３　年	丸石　隼伸
奨励賞	西陵中学校	３　年	菊池　果夏
努力賞	西陵中学校	２　年	佐藤　音々

シリーズ 文化交流館（カント・レラ） 3

のぼりべつ文化交流館（カント・レラ）では、「シリーズ１」や「シリーズ２」で紹介した取組の他にも、様々な取組を進めています。

本シリーズの最後は、市民の皆さんに縄文文化をより楽しく身近に知っていただくための取組について紹介します。



狩りに使った落とし穴（模型）



出前授業

学校に出向き、子どもたちに縄文時代をより分かりやすく知らせる授業を進めています。教室に持ち込んだ土器や装飾品、狩りや漁に使った道具などに子どもたちは興味津津です。





カント・レラ前庭に作られた住居模型

縄文時代の住居の復元模型

現在、カント・レラでは縄文時代の人々の住居の復元模型の作成を進めています。実物大ではありませんが、縄文時代そのままの材料を使っており、当時の雰囲気を実感することができます。今後は縄文土器なども配置し、よりいっそう生活感を感じることのできる展示にしていく予定です。



来館者への説明

来館した皆さんに、展示物について詳しい説明をします。

事前に連絡いただければ、担当の学芸員から詳しい説明を受けることができます。

その他、館内の紹介

正面入り口



縄文土器展示コーナー



図　書　室



まが玉や縄文土器づくり

まが玉や縄文土器など、縄文時代の装飾品や道具を作成することができます。料金その他の詳細につきましては、カント・レラまでお問い合わせください。



☞ お問い合わせ先　『 カント・レラ 』　☎ 0143−84−2069

富岸小学校の土曜授業



５月　安全教室・集団下校

５月の土曜授業では、不審者から身を守るための安全教室、そして集団下校を実施しました。学校内に不審者が侵入した時の情報収集や対応の仕方について全校で確認し、その後、下校コース別にみんなで一斉に集団下校しました。



９月 津波避難訓練

９月の土曜授業は、大津波避難訓練です。コミュニティ・スクール事業の１つでもあります。大津波の発生を仮定して、昨年度は高台にある緑陽中学校へと避難しました。地域の役員の方に誘導していただき、保護者も参加して行われました。

本校では、年間４回の土曜授業を実施しています。

コミュニティ・スクールによる地域・保護者の協力や、小中連携による緑陽中学校の協力をいただき、安全や健康を意識した教育活動に取り組んでいます。

＜昨年度の取組から＞

学校の教育目標

・思いやりのある子
・深く考える子
・からだを鍛える子

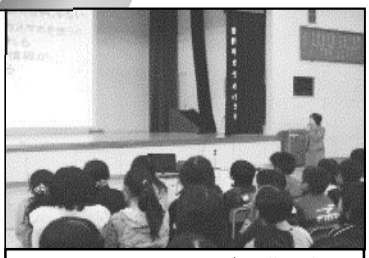


１２月　なわとび指導

12月の土曜授業は小中の連携事業の1つとして、緑陽中学校の生徒に長縄飛びのコーチをしていただきました。中学生の上手な模範演技を見せていただき、また、丁寧な指導を受けて、みんな上手に跳べるようになりました。これを受けて、翌週に体力向上の取り組み「なわとび集会」を実施しました。

11月の土曜授業は、ネットトラブル講習会を行いました。講師を招いてケータイやスマホのトラブルに遭わない心構えや実際の対応を高学年と保護者が学びました。

また、昨年度はボランティア清掃も行いました。保護者の皆さんと協力して、学校を隅々まできれいにしました。



１１月 ネットトラブル講習会・ボランティア清掃

緑陽中学校の土曜授業

本校では昨年度から、土曜授業を年に４回実施しています。

＜土曜授業のねらい＞

① 地域・家庭と連携して、土曜日の子どもの生活を充実させる
② 平日の連続した学習環境の向上となるようにする

＜教育目標＞

○豊かな知性を育て　真理を求める人
○美しい心情を育て　思いやりのある人
○強い意志を育て　責任をもってやり抜く人
○健康な心と体を育て　明るくたくましい人

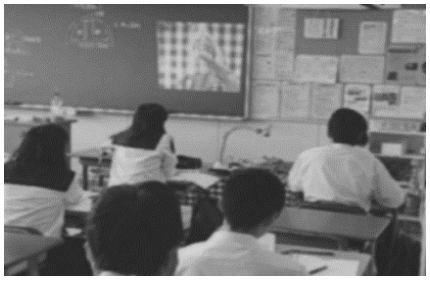
～目指す生徒像～

「自ら考え、自ら動く生徒」「人を支える生徒」「あきらめない生徒」

今年度の土曜授業日の内容については、教科の授業の他、防犯教室や進路説明会、雅楽の演奏会などがあります。

参観日を土曜日に設定することで、保護者はもちろん、地域の参観者数が増えています。

学校での子どもたちの様子をご覧いただき、少しでも学校の教育活動を理解していただければと思っています。



＜実物投影機を活用した理科の授業＞
＜少人数ディベートを行う国語の授業＞

授業では、ＩＣＴ（実物投影機など）を活用した授業や小グループによる授業など、子どもたちの理解に結びつくような分かりやすい工夫をしています。

また、数学では教師を２名に増やして生徒に指導しています。（習熟度別・ＴＴ指導）



平成２８年度　第Ⅰ期・第Ⅱ期

通学合宿を実施しました

5月10日（火）～14日（土）と5月17日（火）～21日（土）に、小学校5・6年生を対象とした本年度第Ⅰ期・第Ⅱ期の通学合宿を実施しました。



この通学合宿は特別な体験をさせるのではなく、テレビやゲームから離れ、他校の子どもたちとの共同生活を通し、「早寝・早起き・朝ごはん」や「５分前行動」、「規則正しい生活」、「自分のことは自分でする」といった基本的な生活習慣の定着や仲よく過ごすことの良さを体感することを通し、それを日常の生活に生かそうとする態度の育成を目指し実施しているものです。



第Ⅰ期は、登別小学校・幌別東小学校・幌別小学校・幌別西小学校の子どもたち、第Ⅱ期は若草小学校・鷲別小学校・富岸小学校・青葉小学校の子どもたちが参加し、普段の生活では経験することのできない、楽しく貴重な５日間となりました。

ケータイ・スマホ３つのルール

近年、ネットによるいじめが問題視されており、メールなどの返信が遅れたことや掲示板などの書き込み内容が、いじめの原因となるケースもあります。



こうした状況を受け登別市教育委員会、登別市ＰＴＡ連合会、登別市校長会で下記のとおり『ケータイ・スマホ３つのルール』を作成しました。

ネットの活用がいじめにつながることのないよう家庭や地域でのご協力をよろしくお願いします。

① 携帯電話やスマホなどの使用時間は、長くても、小学校中学年～１日１時間以内、高学年や中学生～１日２時間以内に。
② 携帯電話やスマホなどの使用時刻は、中学年は夜７時、高学年は８時、中学生は９時まで。それ以降は自分の部屋に持ち込ませないように。
③ 携帯電話やスマホなどには、フィルタリングをかけること。

～教育委員会の動き～

第１回教育委員会

4月21日（木）16:30～

議案第１号　登別市社会教育委員の委嘱について

＜情報提供・交流＞

○平成２８年度登別市立小・中学校の児童生徒・学級数について

○平成２８年度登別市立小・中学校の主要行事について
- 中学校５校の修学旅行の行き先は５校ともに東北
- 青葉小学校開校４０周年記念式典日程（１１月５日　予定）

○平成２７年度土曜授業事業実績及び平成２８年度事業計画について
- 今年度で３年目。地域や学校運営協議会の協力をいただいて展開

○第４１回登別こいのぼりマラソンについて
- 千葉真子さんがゲストランナー、前日に講演会実施　・幌別中学校、青嶺高校、日本工学院の生徒によるボランティア

○平成２８年度登別市小中学校「校長会」「教頭会」三役等について

○教職員の交通ルール厳守の取組について

第２回教育委員会

5月26日（木）16:30～

議案第２号　登別市立図書館協議会委員の任命について

議案第３号　登別市社会教育委員の委嘱について

議案第４号　登別市スポーツ推進委員の委嘱について

＜情報提供・交流＞

○運動会の割り振り

○千葉真子スポーツ講演会及び第４１回登別こいのぼりマラソンについて
- ７００名以上の参加（昨年度比５割増し）
- 千葉真子さん～親子３キロの部に参加し、表彰式ではメダルの授与等



○幌別中学校が修学旅行で白石市訪問
- 佐々木徹副市長や、よろいかぶと姿の市職員が出迎え甲冑を着させていただき記念撮影

○第６８回全国都市教育長協議会報告

教育相談電話（いじめ・不登校 等）　85－0085（月～金）9:00～17:00